

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	当科における高齢者胃癌ESD後の非治癒切除例の検討			
2. 対象患者	H27年1月～H29年12月の期間に当科にて内視鏡治療(ESD)を施行した75歳以上の患者様			
3. 対象となる期間	H27年1月1日 ～ H29年12月31日			
4. 実施診療科等	消化器内科、血液内科、膠原病内科			
5. 研究責任者	氏名	三上達也	所属	光学医療診療部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	早期胃癌に対して内視鏡治療(ESD)を施行した後、病理の結果によって治癒切除が得られなかった際には外科的追加切除が考慮されます。しかし、高齢者の場合、基礎疾患あるいは本人の同意が得られずに経過観察となる場合も少なくありません。そこで、経過観察となった患者様のその後の経過を検討し、経過観察の妥当性を評価することにより、今後の治療方針の参考とします。			
8. 研究の目的	早期胃癌ESD後、非治癒切除となった75歳以上の高齢者のその後の経過を検討することです。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	性別、年齢、ESD施行日、基礎疾患、病理(組織型、深達度、潰瘍痕の有無、脈管侵襲の有無)、治療後の追加切除の有無、治療後の経過をカルテを用いて調査します。			
10. 個人情報の保護	個人情報は削除したうえでデータのみを用いますので個人が特定されることはありません。 また学会や学術誌で研究結果を発表する際も個人情報は含まれません。 対象患者様より拒否の申し出があった際は、研究対象から除外致します。 ただし、既に研究結果公表済みの場合は公表済みのデータを修正することは出来ませんのでご了承ください。			
11. 利益相反に関する状況	本研究の共同研究者の一部が所属する講座では、田辺三菱製薬株式会社、第一三共株式会社、武田薬品工業株式会社、塩野義製薬、ファイザー株式会社およびアツヴィ合同会社から寄附金を受領しており、利益相反状態にあります。ただし、これは本研究の資金源としてではなく、これらにより研究成果が不正に歪められるようなこともありません。本研究は消化器血液内科学講座の研究グループにより公平・公正に実施されます。なお、この研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けております。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 光学医療診療部 三上達也			
	電話	0172-39-5053	FAX	0172-37-5946